

津市ボランティアセンターだより

Vol. 8

ぼらん津



平成19年5月15日発行
津市ボランティアセンター
津市大門7 15
津市社会福祉協議会内
TEL 059-213-7111
FAX 059-224-6067

“ぼらん津”は市民のみなさまに身近な情報を発信します。どうぞ、ご活用ください！

津市社協 HP URL: <http://www.tsu-shakyo.or.jp/>

みんなで参加しよう！ 車イス体験・ふれあいウォークラリー

「久しく居たい津のまち」をテーマに、誰もが参加できる手づくりのウォークラリー大会を開催します！

車イスでの参加が可能なこの大会を通して、車イスの介助方法を楽しく覚えながら難問・ゲームにチャレンジしてみよう！

とき 6月10日(日) 雨天の場合延期

【予備日】6月17日(日)

ところ 津市久居東鷹跡町259

J A 三重中央久居支店 営農センター 駐車場

主催 社会福祉法人 津市社会福祉協議会
大会実行委員会(ボランティアスタッフ)

問合せ TEL 059-213-7111

〒514-0027 津市大門7-15

E-mail: chiiki@tsu-syakyo.or.jp



ミス日本グランプリの萩美香さんも応援に来てくれます！

(ミス日本コンテスト事務局提供)

ボランティアスタッフも同時募集！



「久しく居たい津のまち」をテーマに、誰もが参加できるウォークラリー大会を作り上げませんか！！

会場の設定から日程、スケジュール、チェックポイントでのゲーム内容、資材づくりなど、事前準備から大会当日まで、ボランティアスタッフを主体とする実行委員会で行っています。あなたもスタッフとして活躍しませんか！

大会公式ブログ <http://blog.canpan.info/walk-rally/>

『車イスWR』でWeb検索してみてください。



—地域の情報—

■ボランティアセンター津からのお知らせ■

古切手ありがとうございました…

皆様からいただいた古切手ですが、ボランティアさんに整理して頂きました。

総重量40kgあり、それを知的障がい者に関する啓発活動を行っている団体「誕生日ありがとう運動本部」へ送付しました。

これからも皆様のご協力をお願い致します。

(ご家庭にある古切手は、ボランティアセンター津へお持ちください)

整理ボランティアは、毎月第1水曜日13:30～15:00当センターに集まって活動しています。

関心のある方は、ぜひご参加ください。

ボランティア募集！！

団体名	津市身障者福祉連合会
行事名	津身連 グラウンドゴルフ大会
活動場所	三重県身体障害者総合福祉センター グラウンド
活動日時	平成19年6月8日(金)8:30～15:00
活動内容	競技上の準備、進行補助、テントの設営

<お問い合わせ> ボランティアセンター津 213-7111

■ボランティアセンター白山からのお知らせ■

読み聞かせボランティアグループ

きいろいぼうし メンバー募集

活動内容は…

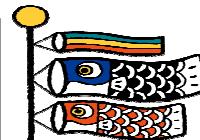
- ・うぐいす図書館での読み聞かせ
(毎月第1土曜日)
- ・子育て支援での読み聞かせ
(毎月第4火曜日)
- ・検診での「ブックスタート」のお手伝い

<お問い合わせ> 電話 262-7029

■ボランティアセンター一志からのお知らせ■

リサイクルボランティア うぐいす会

毎月第4土曜日 マックスバリュ一志店店頭でアルミ缶・牛乳パックの回収を行っています



リサイクルボランティアうぐいす会では、毎月第4土曜日の午前10時から午後4時まで活動しています。上記時間内で機械でのアルミ缶つぶし・牛乳パックの整理などをお手伝いいただける方、また活動に興味のある方はご連絡ください。

<お問い合わせ> 電話 295-0066

情報発信

しませんか？

ぼらん津の「地域の情報」の欄から、情報発信してみませんか？

ボランティアグループのメンバー募集、イベント開催のお知らせやボランティアの募集など、様々な内容を掲載させていただくことができます。

みなさんがつくるボランティア情報欄です。たくさんの情報をお寄せください！

詳しくは、お近くのボランティアセンター(津市社会福祉協議会各支部)にお問い合わせください。

災害復興ボランティア

先月15日(日)津市芸濃町を震源とするマグニチュード5.3、最大震度5強の強い地震が三重県中部を襲いました。また、今年3月には、能登半島地震が発生し石川県輪島市を中心に多くの被害が出たことは記憶に新しいところです。

能登では、木造住宅の被害が多く、雨水の浸水を防ぐためのブルーシートがかけられた家がテレビニュースなどで何度も流れました。また、災害現場で活躍するボランティアの活動も新聞、テレビなどで紹介されました。現在日本では、自然災害によって大規模な災害が発生すると、全国各地からボランティアが被災地に復興支援のため集まってきます。同時に被災地では、「災害ボランティアセンター」が立ち上がり、被災者の要望とボランティアをつなぐ役割を担います。

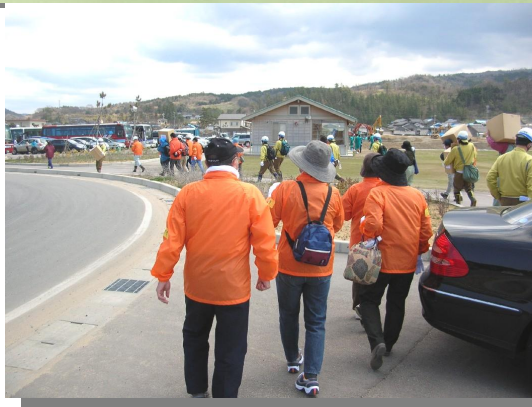
復興支援のボランティアの活動動機は、「困っている人のために何かしたかった」「社会の役に立ちたかった」といったものや「時間があったから」「テレビで見て興味がわいた」などさまざまです。しかし、そのボランティア経験は、自らが被災者になったときに住んでいる地域や家族のために必ず活かすことができます。

平成19年4月9日～12日

津市社会福祉協議会職員

復興支援に行ってきました。

(災害ボランティアセンター運営補助等)



活動に向かうボランティアの様子(石川県輪島市門前町)

災害復興ボランティア
活動のための

3つのポイント

**飲料水、食糧など
必要なものは携行し、
自己管理する**

被災地では、ボランティア自身の飲料水、食べ物、宿泊場所等の確保が困難になります。事前に現地情報を入手し、準備を行うことが大切です。

Point1

無理のない活動をする

ガレキの処理、家財の取り出しなど、危険が伴う活動もあります。

手に負えない場合は、断るなどの対処が必要です。

Point2

**被災地の人々の心の
痛みを思いやる**

被災者のなかには、家族や家を失った人もいます。被災地の人と連携しなければ効率的な活動はできません。被災地の意思を尊重して活動することが大切です。

Point3



福祉ワークキャンプ 開催!



若い世代のみなさんに、ボランティア活動に興味をもっていただくための事業の一環として、津市内在住・在学の中学生・高校生を対象に“福祉ワークキャンプ”を開催します。

障がい者福祉施設での体験・交流を通して、福祉の心を培っていただく機会として開催します。ぜひご参加下さい!



昨年の様子
いなば園納涼大会の、前日準備や本番のお手伝いをしました。

と き	平成19年7月27日(金)~28日(土) 【1泊2日です】
場 所	津市稲葉町3989 三重県いなば園
対 象	ボランティアや福祉に関心のある、 津市内在住・在学の中学生・高校生

夏休みを利用して、みんなで参加しよう!

ボランティアって何? ボランティアを始める前に知っておきたい

3つの心得

ボランティアの第一の心得とは、自ら進んで行うことです。

きっかけがどんな理由であれ「ボランティアをしてみたい!」というあなたのその気持ちが大切です。

先生に言われたから、友だちや先輩に強制されたから、行うことはありません。ボランティアを始めると、学校や家での生活とは違った、さまざまな経験ができます。はじめての出会いに、驚きや戸惑いを覚える人もいるでしょう。

きっとあなたは、その新しい出会いを通して何かに気づくでしょう。

ボランティアの第二の心得は、出会った全ての人に対して謙虚な気持ちで接することです。

第三の心得は、何か見返りを期待しないことです。ボランティア活動は、仕事とは違い金銭的な報酬はありません。報酬がないからといって中途半端な気持ちは禁物です。自ら進んで始めたからには、責任をもって活動する。それができるか、できないか、自分に挑戦してみましょう。

ボランティア活動を経験するとお金にはかえられない感動や喜びを得ることができるでしょう。

(赤い羽根ボランティアコミック・アクションガイドより一部抜粋)

ボランティア活動保険

入ってますか?

「ボランティア活動保険」は日本国内のボランティア活動中におこる様々な事故からボランティアの方々を補償する保険です。

日本国内における「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」で社会福祉協議会に登録されたものである活動を、加入年度内について補償します。

他にもボランティアグループが主催する行事を補償対象とする

『ボランティア行事用保険』もあります。

詳しくは、津市社会福祉協議会各支部(ボランティアセンター)へお問い合わせください。



本紙は赤い羽根共同募金の配分金を活用しています。